

第1章 情報社会と私たち
1節 情報社会

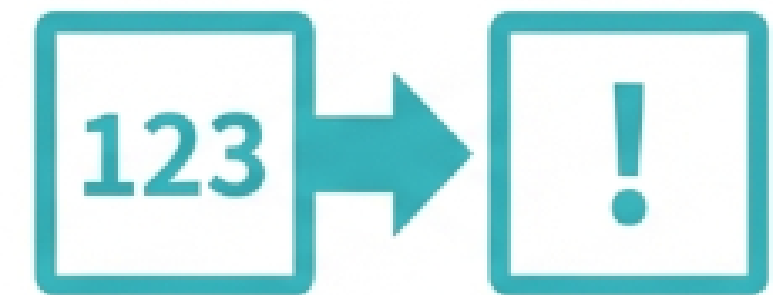
情報社会と情報



実教出版 情Ⅰ 705
最新情報Ⅰ p4-p5

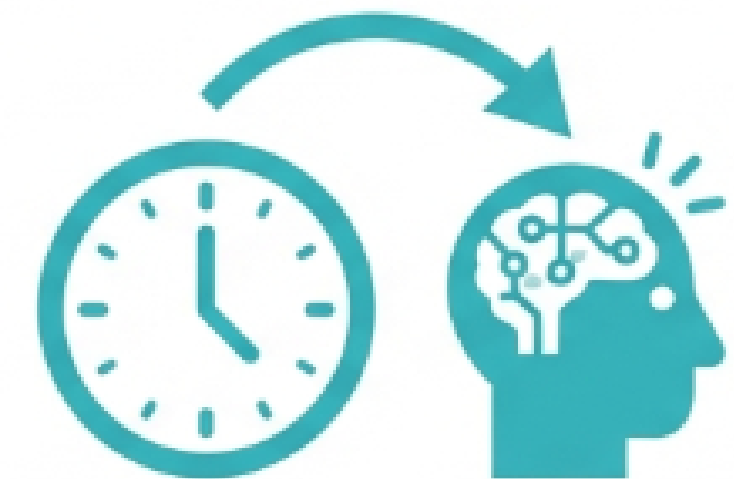
今回のゴール

「データ・情報・知識」と



「Society5.0」を完璧に

マスターする！



1

情報（Information）とは？

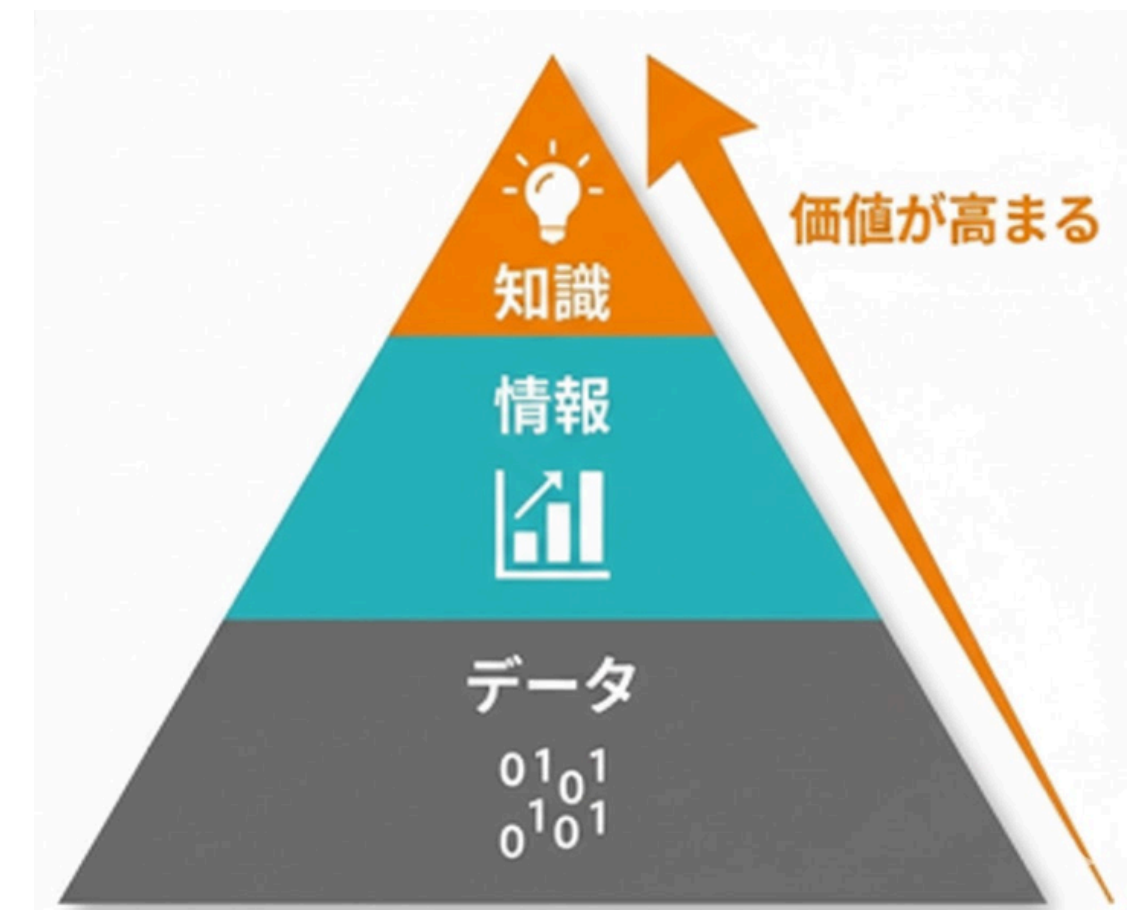
- 定義：（ ）
で、受け手に何らかの意味を伝えるもの。
- 役割：私たちが何らかの行動や意思を決定する際の（ ）となる事柄。
- 具体例：
 - 商品のカタログスペック(事実:データ)
 - 購入者のレビューや評価(判断材料:情報)
 - 最終的な購入決定（意思決定）



1

データ・情報・知識の階層

- () : 実験、観察、調査などで得られた「事実」。
- () : データを整理・加工し意味を持たせたもの。
- () : 情報を分析・体系化し、問題解決に役立つようにしたもの。

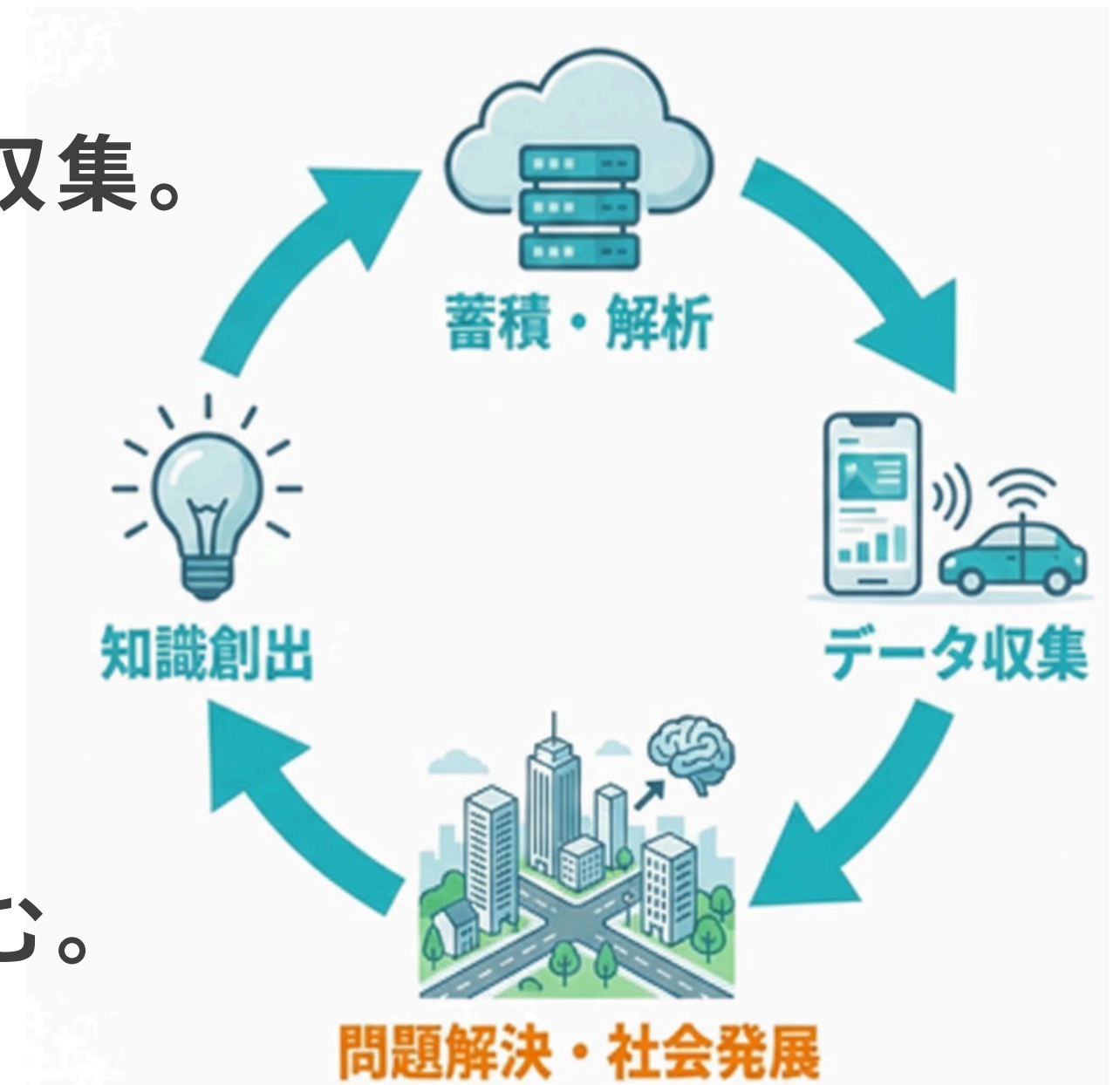


データを情報に変え、知識として蓄積することで社会の問題を解決

- 情報技術の発達により蓄積・解析が可能になった () データの集合体
 - () : 個人の活動やセンサーから発生する膨大なデータ量。
 - () : テキスト、画像、音声、動画、ログなどの多様な形式。
 - () : リアルタイムで刻々と収集・更新されるスピード。
- 電子メールやSNS投稿など形式が定まっていない「非構造化データ」も含む。



- データ収集：人、モノ、自然、社会から収集。
- 蓄積・解析：ビッグデータとして蓄積。
- 知識創出：新しい知見や技術を得る。
- 問題解決：社会課題を解決し、価値を生む。



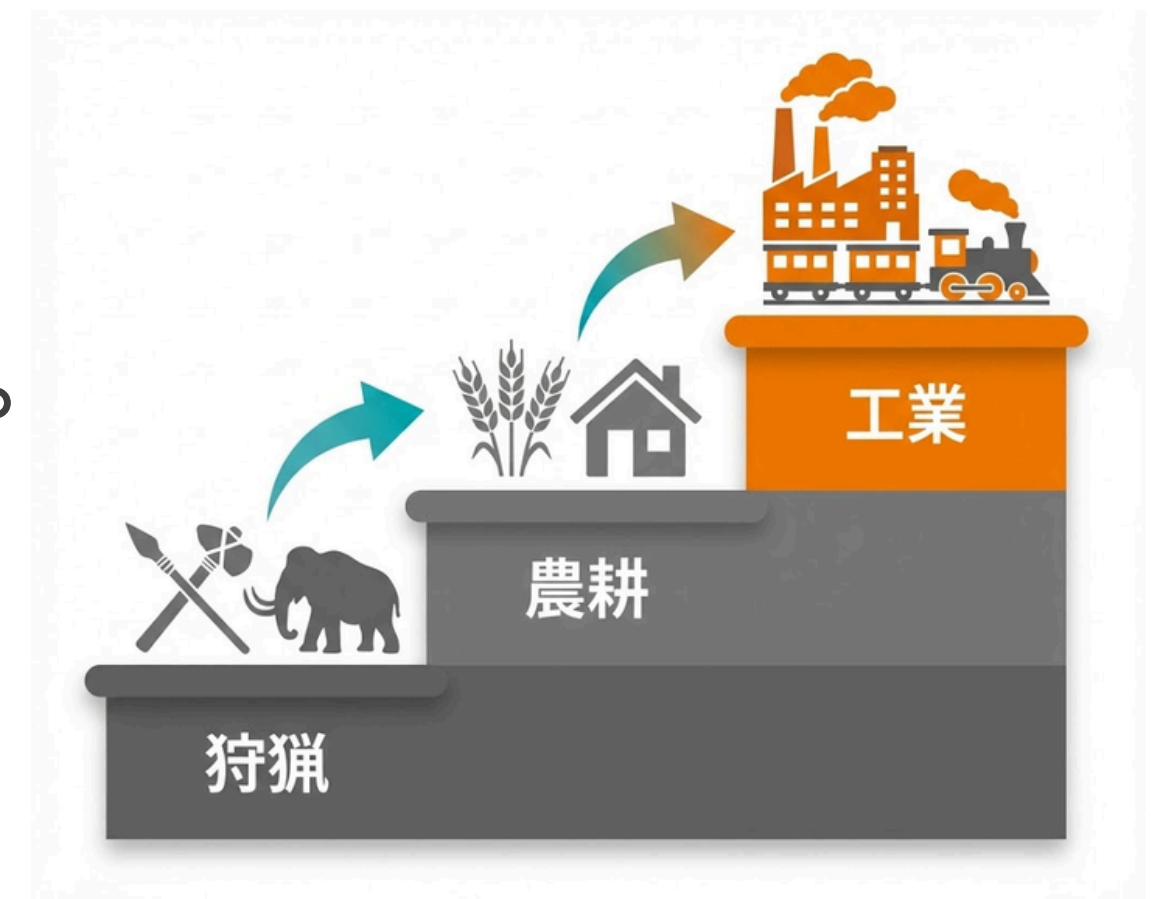
経済成長、社会発展、教育・研究の充実につながる

2

社会の発展段階（第1～3段階）



- 第1段階：（ ）社会
 - 狩猟・採集。石斧、弓矢、言葉。
- 第2段階：（ ）社会
 - 定住・栽培。文字、天文学、かんがい技術。
- 第3段階：（ ）社会
 - 18世紀半ば、イギリスで産業革命。蒸気機関、工場での大量生産。

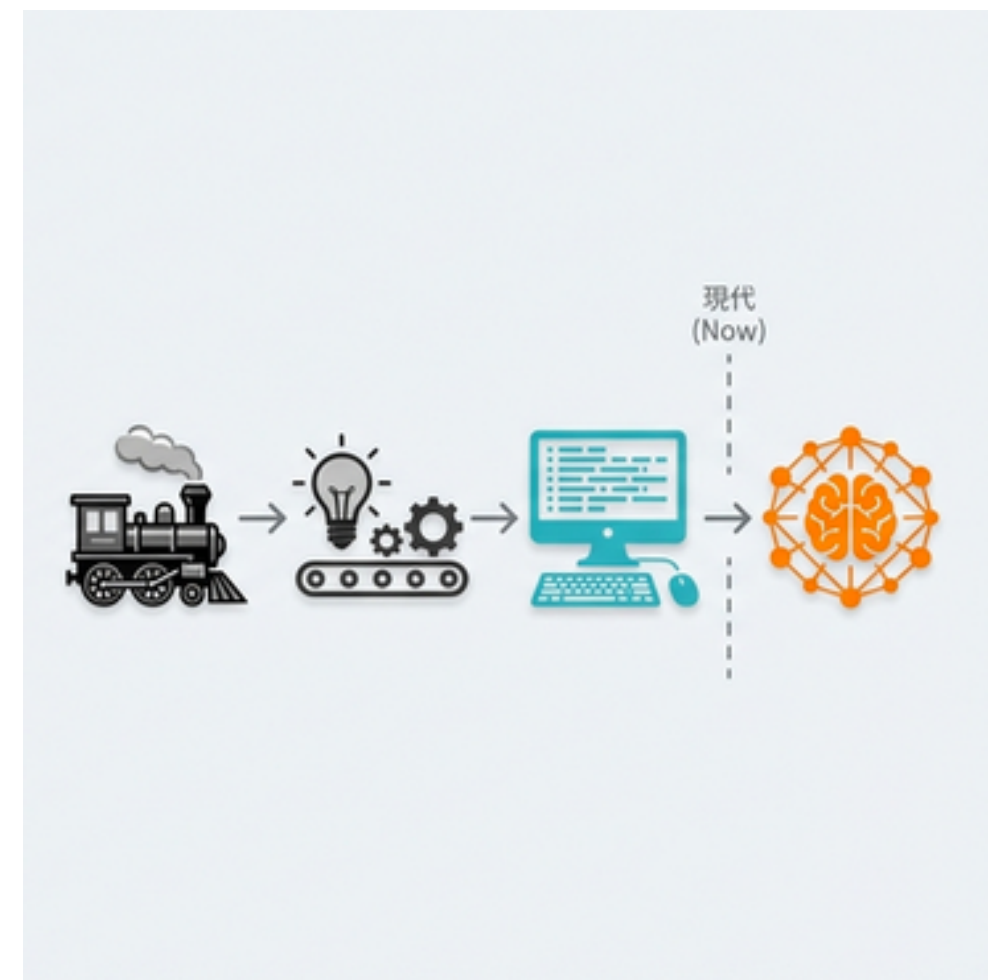


2

産業革命の4段階



- 第1次産業革命：蒸気機関による機械化。
- 第2次産業革命：電力・石油による大量生産。
- 第3次産業革命：コンピュータによる自動化。
 - 第4段階：（ ） **社会** が到来。
- 第4次産業革命：AI・IoT・ビッグデータによる自律化。
 - 現在に至る。



- 定義：() 空間（仮想空間）と () 空間（現実空間）を高度に融合させたシステム。
- 目的：経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の新しい情報社会を目指す。



狩猟→農耕→工業→情報で、次は () のSociety5.0へ！

今回のまとめ

- () は「事実」、() は「判断材料」、
() は「解決策」。
- この3段階（データ→情報→知識）の理解が基本。
- 現代は「 」を活用して問題を解決する時代。
- 人類は「 → → 」と進化してきた。
- 次に来る未来社会が「 」。
- Society 5.0のカギは「 (サイバー)」と「
(フィジカル)」の融合。



君ならできます！

頑張って！